

6-5

主題 みんなで守ろう、管理しよう、人員配置基準

人員配置にまつわる加算

副題 介護保険法に則した勤務表の確立

法令遵守

研究期間 13ヶ月

事業所 特別養護老人ホーム 第二清風園

発表者：石田 悟（いしだ さとる）

アドバイザー：

共同研究者：

電 話 042-736-6906

メール seifu2@san-ikukai.or.jp

FAX 042-736-6903

URL www.san-ikukai.or.jp今回発表の
事業所や
サービスの
紹介

社会福祉法人賛育会の特別養護老人ホームとして、1997年4月町田市の支援のもと設立。特別養護老人ホーム80名、短期入所施設50名、在宅サービスセンター50名、地域包括支援センター、居宅介護支援事業の高齢者総合福祉施設である。

《研究前の状況と課題》

2009年4月介護保険法が改定され、新たな加算が数多く創設されました。

その内容の多くは「職員の有資格者の割合」「常勤率の割合」「経験年数の割合」等人員に関する内容が多くを占めており、今まで以上に人員配置を適正に管理する事が求められました。

人員配置を適正に管理できなければ、加算の算定はすべきではありません。当初は「タイムカードを基に管理しようか・・・」と考えましたが、タイムカードには資格の有無・経験年数の有無は把握できず、タイムカードを基に管理すればその業務量は膨大になってしまいます。

では、「どのような方法で管理すべきか？」が事業所の課題となっておりました。

《研究の目標と期待する成果》

「業務量を増やさないで適正に人員配置を管理行なう方法はないか」と検討した結果、勤務表を改定することとなりました。

それまで書式もばらばらであった勤務表をエクセルで統一し、加算にまつわる情報（資格・経験年数、各職員の勤務時間数等）を入れ、さらにエクセルの計算機能を活用することで、適正かつ効率的に管理する事ができるのではないかと考えました。

《具体的な取り組みの内容》

＜新しい勤務表の特徴＞

- ① 様式はエクセルに統一
- ② 勤務表に加算にまつわる必要情報を入れる事で、自動的に加算をチェックできるようにしました。
- ③ 兼務職員についても自動的に反映できるようにしました。
- ④ パソコンネットワーク内に入れる事で情報はオープンに、そしてリアルタイム管理できるようになりました。

＜導入費用＞

既存のパソコンネットワーク・一般的な計算ソフト（エクセル）を使用したため、費用は一切かかりませんでした。

＜導入期間＞

わずか1ヶ月で導入に成功しました。

＜スピード導入できたポイント＞

- ① 人員配置管理の必要性を周知
介護保険改定についての勉強会や説明会を何度も実施し、人員配置管理の必要性を施設内に浸透させました。
- ② ギブ&テイクの関係作り
新しい勤務表は各部署にとって、作業量を増やしてしまうといった問題もありましたが、色々な計算機能（夜勤人数・公休数等を自動カウント等）を追加することで各部署が苦勞していた勤務表作成時の手間等を省きました。

《取り組みの結果と評価》

- ① 実地指導検査が待ち遠しくなった。
新しい勤務表を作った事で、今まで不安であった東京都実地指導検査が待ち遠しく思えるようになりました。（当施設では、2009年9月の実地指導検査が行なわれ「適切に管理している」との評価を受けました）
- ② 施設内の人員配置に対する意識が改善
それまでは「人員配置＝事務員の仕事」という認識が「人員配置＝皆で管理」といった風潮が施設内に生まれました。
勤務表をオープンにした事で介護保険に対する質問が、事務所に多く寄せられるようになりました。

《まとめ》

今回の取り組みを通して、「法令遵守（コンプライアンス）は誰かが管理するものではなく、皆で管理するもの」という事が非常に大切だと感じました。

《参考文献》

《提案と発信》

社会情勢が刻々と変化する中、私達福祉業界にこれからもっと求められるもの、それは「法令遵守」だと思います。法令遵守は担当者が管理すればよいのでしょうか？それでは不正や理解不足が生じるのではないのでしょうか？「コンプライアンスは誰かが管理するのではなく、皆で管理するもの」という考え方をもっと広げてみませんか？

【メモ欄】 追加資料 無